



日本通運株式会社 美術品事業部

東京都千代田区神田和泉町2

[採用窓口]

関東美術品支店

東京都中央区新川1-1-5 tel: 03-3206-1133

関西美術品支店

京都府京都市南区吉祥院八反田町19-2 tel: 075-662-0561

中部美術品支店

愛知県名古屋市守山区新守山2502 tel: 052-758-5223

美術品事業部
について



採用について



ABOUT

日本通運 美術品事業部 とは？

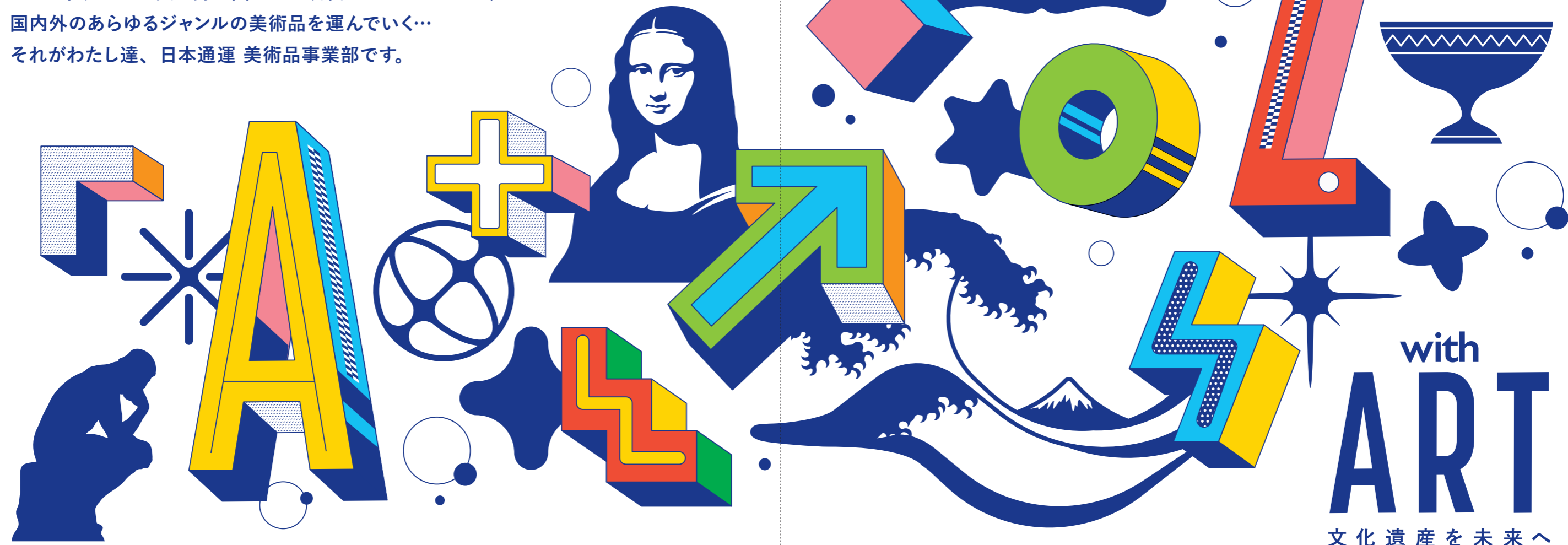
絵画、彫刻、仏像、掛け軸、刀剣…

今日、美術館や博物館、ギャラリーなどで観ることができる、
これら美術品の専門輸送に特化したプロフェッショナル集団がいます。

1000年以上の歴史を持つ国宝から現代アートに至るまで、

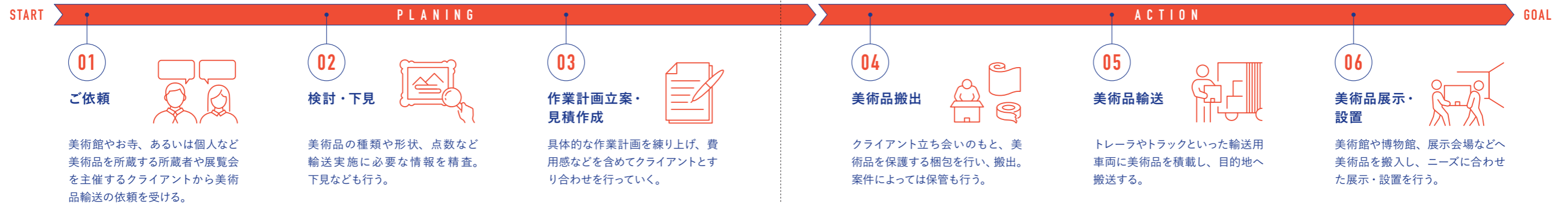
国内外のあらゆるジャンルの美術品を運んでいく…

それがわたし達、日本通運 美術品事業部です。



with
ART
文化遺産を未来へ

BUSINESS FLOW



彫刻（仏像）

古いものになると飛鳥時代の仏師が制作したものや、教科書に載っている国宝まで。素材は木・金属・土など。設計書がなく、梱包・輸送に高い技術と知識が求められます。



国宝「鑑真和上坐像」奈良・唐招提寺

額装作品（絵画）

モネやゴッホをはじめとする海外有名画家の絵画から葛飾北斎や伊藤若冲ほか日本画家の作品まで。額縁には金箔等で装飾され、それ自体に価値があるものもあります。



考古資料

土器・埴輪・石器・木器・骨角器など、さまざまな素材と形からなります。脆弱なものが多く、X線写真などを参考にしながら、取り扱うことも少なくありません。



掛け軸

書画に表装を施し、作品である本紙を巻いて棒状にして保管したものとります。本紙を傷めずに掛けおろす作業には、相応の知識と技術が必要となります。



SERVICE こんな美術品 を運んでいます

一言で美術品といってもその種類は多種多様。
このページでは、その代表的なものを紹介します。



茶碗（茶道具）

茶席の空間で使われるものが美術品として展示されています。茶の湯の文化としての流儀・作法が大切にされています。



染織

歌舞伎等の伝統芸能衣装、武家や宮廷貴族の装束類、中近世の晴れ着まで。近年では有名アーティストデザインの着物が出版されることもあります。

陶器

文化財の中では科学的にもっとも安定していて、温湿度の影響をほとんど受けない反面、衝撃に対しては極めて弱いという特徴があります。



屏風

日本では奈良時代から用いられていた伸縮自在の調度です。有名な風神雷神図のような大きな画面はインパクトがあり、博物館・美術館で展示映えます。



POINT

専門技術を活かして活躍できる場所は？

- 東京国立博物館
- 国立西洋美術館
- 京都国立博物館
- 奈良国立博物館
- 国立科学博物館
- 出光美術館
- サントリー美術館
- 三井記念美術館
- 徳川美術館
- 博物館 明治村

など 全国各地の美術館・博物館



武具（甲冑）

工芸のさまざまな分野の技術を用いて作られています。素材が多岐にわたることや、兜・胴を中心に各部分を繋いで組み立てて展示するための知識が求められます。



STRONG POINT

私たちの強み

美術品事業のこれまでの実績をはじめとした強みをご覧ください。
 私たちは、美術品や展覧会に日々携わり、業界内の信頼を獲得してきました。

ACHIEVEMENTS

美術品輸送の主な実績



NETWORK

東京、京都、名古屋の美術品取扱専門店所を核に、
 全国に49拠点を有しています。

- 美術品事業部 東京都千代田区神田和泉町2
- 関東美術品支店 東京都中央区新川1-1-5
- 関西美術品支店 京都府京都市南区吉祥院八反田町19-2
- 中部美術品支店 愛知県名古屋市守山区新守山2502



〈その他の美術品取扱支店〉
 札幌、釧路、函館、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、
 郡山、水戸、宇都宮、前橋、千葉、横浜、新潟、富山、
 金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、津、奈良、
 鳥取、松江、岡山、広島、防府、周南、下関、徳島、高松、
 松山、高知、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、
 宮崎、鹿児島

QUALIFICATION

社内に多くの有資格者を有し、
 その技術力を持って専門性の高い美術品輸送を確実に遂行しています。

- 公益財団法人日本博物館協会認定
 - 美術品梱包輸送技能取得士1・2・3級 NXグループ計**220**名 (2025年3月時点)
- 公益財団法人文化財虫菌害研究所認定
 - 文化財IPMコーディネーター **10**名 (2025年3月時点)



EDUCATION

美術品輸送のカギとなる人材育成のため、
 豊富な研修制度と宿泊可能な研修施設が用意されています。

- 美術品取扱専門研修
- 美術品取扱研修 (初級・中級・上級)
 - 美術品梱包輸送技能取得士研修 (1級・2級・3級)
 - 美術品作業インストラクター研修 など

研修施設



研修施設NX-TEC芝浦 (芝浦キャンパス)



研修施設NX-TEC伊豆

PEOPLE



Shuri Iwasaki
岩崎 秋里

関東美術品支店 作業課
2024年入社



Shuuichi Takahashi
高橋 秀一

関東美術品支店 作業課
2019年入社

やり方に基準はあっても一つの正解がない そこを経験と技術と追求していく奥の深い仕事

仕事内容

全国各地または海外から絵画や仏像といった美術品・文化財を輸送する仕事です。美術館で展覧会が開催されるとなれば、展示品を所蔵者から借用し、しっかりと梱包した上で会場へ輸送・展示し、会期が終了したらまた所蔵者に返納するところまでを私たちがおこなっていきます。

仕事の醍醐味

元々、美術館でさまざまな作品を鑑賞することが好きだったということもあり、一般人が普段入れないような収蔵庫やお寺の蔵などに入って仕事ができることや、作品の間近で作業ができることに魅力を感じています。

印象に残っている美術品輸送

展覧会の陳列作業に初めて参加したときです。私たち以外にも、たくさんの作業員の方々がおり、一つの展示会を開催するために、本当に多くの人に関わっているということを感じました。

今後の展望

巡回展や展覧会などのメイン担当を任せたいです。また、大学の卒業論文で京都の醍醐寺の作品に言及したことあり、いつかそれに関連する仕事に携わることができたら嬉しいです。

他社が運べないものを運べる… その技術と気概を持って共に働きましょう

仕事内容

美術館や博物館といったお客様からご依頼をいただき、さまざまな美術品の梱包・輸送・展示を、お客様毎のニーズに沿った形で行っていきます。一つとして同じ作業がないのが仕事の特徴だと思います。

自社の強み

国内外のさまざまな美術館・博物館と多岐にわたる取引実績があること。そして、そうした実績を軸に新しい提案をしていけることだと思います。また、全国の支店との連携や技術力も強みだと感じます。

印象に残っている美術品輸送

神奈川県のある街のシンボル像の輸送・梱包をおこなったときのことをよく覚えています。真夏の野外作業だったことでハードな内容でしたが、地域の方々の支えもあり無事に作業を完了でき、大きな達成感がありました。

働く魅力

国内外の数ある美術品は、通常目で見ることができません。それらに実際に触れることができることは(責任は伴いますが)魅力の一つだと思います。また、多くの方が展示した美術品を見に来ることにやりがいを感じます。

VOICE 社員アンケート

現場の社員から仕事に関するアンケートを集めました。

入社理由

- 求人募集を見て、仕事内容に興味を持ち応募しました。(1991年入社)
- 親戚の人から「日本通運のなかには美術品を取扱う部署があり、彫刻(仏像)を取扱う前に手を合わせて拜むんやで」と聞き、興味が湧いて入社しました。(1991年入社)
- 親に勧められて(親が日本通運だった)。(2014年入社)
- 全国各地に足を運びながらいろいろな分野の文化財ならびに貴重なものを取り扱える業務であることが入社理由です。(1984年入社)
- きっかけは、親戚のおじさんの紹介。(1993年入社)

これまでにこんなものを運びました

- 教科書で見た京都六波羅蜜寺の仏像「空也上人像」です。口から出ている小さな仏様の梱包はとても難しかったです。(2001年入社)
- 唐招提寺の盧舎那仏を輸送しました。(1991年入社)
- レオナルドダヴィンチの資料を輸送し、展示しました。(2004年入社)
- 色々運びましたが、すべてが貴重で代わりがありません。すべてが大切なものです。(2002年入社)
- 国宝「曜変天目茶碗」を扱った時は小さい作品ですが緊張感はかなり大きかったので今でも記憶に残っています。(1984年入社)
- 子供のころ、教科書で見ていたロダンの彫刻「考える人」です。(1993年入社)

仕事の面白いところ

- エジプトでエジプト人と一緒に梱包作業を行ったのですが、外国人との共同作業は新鮮でとても成長できました。(2001年入社)
- 毎日、多種多様な作品や案件があり、新鮮な気持ちで仕事に取り組めることです。(2004年入社)
- 一人で作業することが少なく、仲間と相談したり、協力して作業を遂行することが出来ることです。(2015年入社)
- 美術品の梱包・輸送は正解が一つではなくそれを先輩と、時には一人で考え成功したとき(美術品がもった場所に帰ってきたとき)が一番面白いです。(2004年入社)
- 唯一無二な文化財や美術品に触れながら仕事ができることです。(1984年入社)

仕事の難しいところ

- 今まで取り扱ったことがないものは、前例がないので輸送計画を立てるのが難しいです。先輩方の知恵をお借りして新しい方法を見出せるようになっています。(2001年入社)
- 常に予測と熟考の繰り返しで、答えが一つでないところも多く、やりがいがあります。(2004年入社)
- 依頼者の要望に「円滑に」「柔軟に」対応することが求められ、なおかつ、「無事故」「無災害」で対応しなければならないところです。(1991年入社)
- 世界に一つしかないものを、重圧の中お客様の要望に応えながら安全に無事故で運ぶこと。(2020年入社)
- お客様の立ち会う中、緊張感のある状況で安全作業を行わなければならないところです。(1984年入社)

印象に残っている出張先

- フランスのパリです。仕事前のセーヌ川での朝散歩は良かったです。(2001年入社)
- 被災地(仙台)への出張中、現地の方々とのやりとりは今でもよく覚えています。(2004年入社)
- ブラジル、シンガポール、中国、アメリカ、フランス。(2014年入社)
- 日本美術の展示作業で行ったスイスのチューリッヒです。(1984年入社)
- 沖縄です。沖縄県内各地の美術館・博物館に行って梱包する仕事で、各館所蔵する名品を取り扱いました。(1993年入社)

応募者へのメッセージ

- いろいろな場所に行き、たくさんの人々との交流ができる仕事です。(2001年入社)
- 近年若い年代のスタッフも増えてきています。自分意見を発言出来る職場なので心配せずわからないところは聞いてください。(2004年入社)
- 色々覚えるべき知識や技能が多い部署だと思うので、「明るく元気で」頑張りたいと思います。(1991年入社)
- 休みも取りやすく、プライベートも仕事もメリハリ付けて全力で取り組みます。(2004年入社)
- 色々な場所に向かうことで、視野が広がってプライベートでも充実した生活が送れると思います。(1984年入社)
- 全国の色々な場所に行くため、出会いの多い職場だと思います。(1993年入社)

